

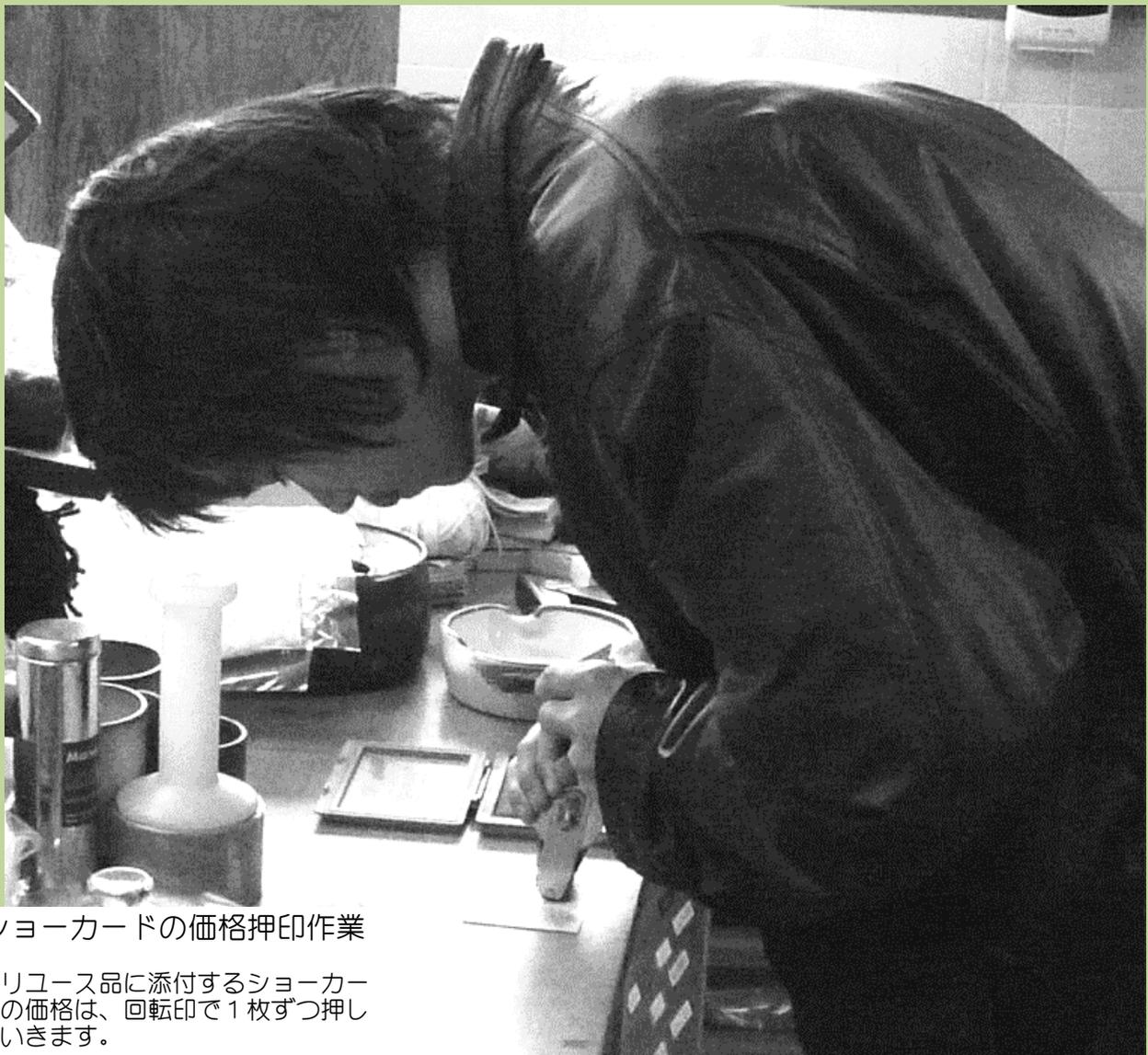
- ・コラム「いいところ取りをするな」
- ・お知らせ（太陽と緑の会からの助成、徳島商工会議所女性会様より寄贈、大学生体験ボランティア）
- ・スタッフ投稿／ブログより
- ・協力者名簿／編集後記

## 「いいところ取りをするな」

杉浦 良

「いいところ取りをするな！」随分昔、私の恩師から言われた言葉です。

今は亡き柳沢寿男監督は、人生の後半、福祉ドキュメンタリー映画を作っていました。1968年に重症心身障害児療育施設びわこ学園を舞台にした「夜明け前の子どもたち」、1971年には国立西多賀病院のベッドスクールで生活する筋ジストロフィーに冒された130人の子供たちを記録した「ぼくの中の夜と朝」、1975年に重度身体障害者授産施設西多賀ワークキャンパスを舞台に「甘えることは許されない」を撮り終えていました。



ショーカードの価格押印作業

リユース品に添付するショーカードの価格は、回転印で1枚ずつ押していきます。

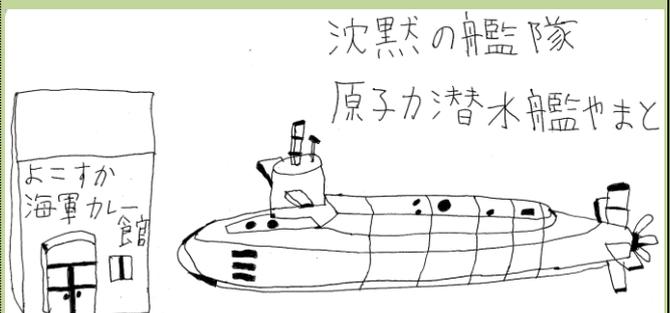
柳沢監督のドキュメンタリー映画製作手法の特徴として、たとえば、映画製作資金を地元はもちろん全国からの寄付から捻出すること、映画スタッフはカメラを携え現場に通い続けながら、カメラを意識しなくなるまで待ちながら撮影すること、映画のラッシュ（編集前の撮影したフィルム）を関係者に見てもらい、そこから新たな発見や洞察を促すことでの広がりを映像化すること、などを挙げるができます。あるがままを撮るのではなく、映画スタッフと現場との「行って来いの関係」を撮りたいと、監督が語っていたのを思い出します。

そして1982年には、愛知県知多市の療育グループの活動を中心とした「そっちやない、こっちや コミュニティケアへの道」というドキュメンタリー映画を撮り終えました。その撮影現場の福祉指導員をしていた私は、これからの展望を悲観してそこを辞めようと思いました。短い間でも、充実した活動を行うことができたという認識はありましたが、先が読めません。あてなどありませんでしたが、このまま持続する意義を見失っていました。

「監督さん！映画も撮れましたし、もう辞めたいと思うんですが・・・」そう語る私に、監督は厳しい口調でこう言いました。「いいとこ取りをするな！」私は咄嗟には、その真意が解りませんでした。待遇面から言えば、学生時代のアルバイトより劣悪でしたし、自分が得をした覚えも全くありません。何かを学ぶための

修行や、徒弟関係でもありません。しかし、思い直してよくよく考えてみると・・・「撮影現場となった場所の指導員は勝手に辞められるが、そこに通う様々なハンディを持ったメンバーたちは、そうはいかない・・・」という現実でした。「絶望的であっても、最後まで、きりが付くまでやり抜く姿勢こそ、残されたメンバーたちへの、最低限の礼儀ではないか・・・？」そんな言葉がいつしか浮かび上がり、思いとどまることにしました。結果として、それから1年後に去ることになったわけですが、そのことの意味を教訓の如く思い返します。

時は流れ、徳島で現在の活動を行うことになりました。気が付けば今年で29年を迎えます。その活動の持続は、若き日々<sup>に</sup>に心がヒリヒリさせられる体験に裏打ちされた、その時その時の原風景により支えられているのでは、と思える厳冬の2月です。



自分は原潜「やまと」とよこすか海軍カレー館初めてかきました。書店で本をかたの<sup>よ</sup>かき、かけて絵をかきました。海軍カレー館は行った事はありません。神奈川県横須賀市にあります。

文・イラスト 藤田さん

# お知らせ

## 太陽と緑の会からの助成 (第38回)

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金  
(古紙、鉄屑、空き缶、ウエス1キロに対し6円、  
廃食油1キロに対して12円)平成24年度前期分35万1400円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これを各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。(敬称略)

### ①障害者福祉活動への助成

NPO法人 聴覚・ろう重複障害者生活支援センター(地域活動支援センターの運営など)(徳島市) 5000円

地域活動支援センターやまもも(10周年記念フォーラム) 3万円

徳島県精神障害者家族会連合会 5000円

NPO法人共同連(差別とたたかう共同体全国連合)(社会的事業所の法制化に向けた取り組みなど) 6000円

### ②社会福祉活動への助成

新しい自立化支援塾(野宿を余儀なくされた方々の支援活動等) 3万円

### ③災害支援活動への助成

社会福祉法人ありのまま舎(宮城県仙台市)(東日本大震災に伴う在宅重度難病者支援活動に対して) 24万280円

とくしま母子疎開の会(東日本大震災原発事故被災地からの疎開を支援する活動) 2万円

### ④国際協力活動への助成

徳島県国際交流協会 5000円

### ⑤その他の活動への助成

日本NPOセンター 1万円

支援金振込手数料 120円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回、累計1170万1276円の助成を行ってきました。

## メンバーの活動を 紹介して頂きました

1月16日付朝日新聞朝刊徳島版にて、太陽と緑の会リサイクル作業所メンバー米田太さんの12作目の詩集「増元」(平成24年12月発行)を紹介して頂きました。

米田さんの詩集創作販売活動も10年になりました。本人自らが学校、施設、街頭、イベントなどで、2万6000部を販売してきました。言語障害と独特の風貌やスタイルで驚かれることもありましたが、地元の新聞・テレビ等、マスコミの皆様に紹介して頂き、またこの取り組みを好意的に見守って下さる方々もおられ、本当にありがたいことと思います。

作業所でレイアウト・印刷・製本した詩集は定価200円、うち100円は製本作業に携わったメンバーの工賃及び印刷経費とし、残りの100円が米田さんの収入となります。

身体障害(脳性まひ)がありますが、等級が低いため障害基礎年金は受給していません。詩集販売の収入が夕食の弁当や衣料品の購入に充てられます。

福祉の枠にも雇用の枠にも入らない米田さんの、自分の足で立っていくための模索は、国の税金(社会保障費)が節約されると同時に本人の生きがいにもつながる、という一石二鳥の取り組みでもあります。

## 徳島商工会議所 女性会様より寄贈

徳島商工会議所女性会様より、デスクトップパソコン本体（エイサー VTX4610-BL540HBF）を寄贈して頂きました。

1月10日、会長の高橋様をはじめ、9名の皆様が太陽と緑の会事務局に来所、贈呈式の後、パワーポイントを使用しての事業説明と施設のご案内をさせて頂きました。

早速、代表杉浦が講演のレジюме・文書作成等の事務処理、値段付け作業のための調査、売場案内表示の作成などで活用させて頂いております。

昨今のように社会情勢が厳しい中でのご寄贈、本当に有難いことと思います。大切に使用させて頂きます。ありがとうございました。

## 実践報告

季刊福祉労働 137号（現代書館発行）にて、代表杉浦が「太陽と緑の会の実践 人も物も活かされる街づくり報告」と題して実践報告。

都市問題平成25年1月号（後藤・安田記念東京都市研究所発行）にて、杉浦が「使い捨てる時代から人も物も活かす時代へーリサイクルの実践から見えて来るもの」と題し実践報告

## 大学生体験ボランティア

1月19日 10時～16時

四国大学2年生岡田さん、河野さん

1月20日 10時～13時

徳島大学1年生大塚さん、山村さん

当会に来られるのは初めてとのことだったので、初めに事業説明と施設案内を行った上で、当会作業所の様々なハンディを持ったメンバーと共にリユース・リサイクル活動に参加して頂きました。終了後は、質疑応答の時間を設け、当会の事業への理解を深めて頂きました。お疲れ様でした。



掘り出し物コーナー

食器、台所用品、生活雑貨などを、一つでも多くリユースにつなげるために50円均一で販売しています（家具類、植木鉢は別途価格がついています）。奥の6本のスチール棚は、韓国ユネスコの朴正燮さん及び有志の皆様からのご寄附を活用させて頂きました。

## スタッフ投稿

みなさまこんにちわ。スタッフの吉川と申します。

ついに勤続年数が二桁になりましたが、相変わらずの日々です。

今回、機関誌に原稿をとの事ですが、日々の生活を今一度振り返ると、そこには「継続」しかありません。私はひたすら毎日を繰り返す事しかできなかった。それを「相変わらず」というとそうなのでしょう。

ハンディを持って生きる、ということとはどんな事だろう。

私は時々、メンバーさんに尋ねる

「スタッフのほうがいい？」

ほとんどのメンバーさんがこう答える「いやです」と。

「スタッフは大変やん」と。

「今のままでいいから、ほかの仕事（一般就労）がしてみたい」と。

ハンディを持って時間を積み重ねることは大変じゃないのか。

考えの浅い私はすぐにそう考える。黙って私をみる彼らの顔をじっと見ても、答えはでない。

日々の忙しさに埋没する事とはこういう事で、笑ったり怒ったりして作業をする向こう側に、彼らの帰る家があり、彼らの家族があり、彼らの人生が有ると言う事である。

スタッフはそれを忘れてはいけないと思う。(専任職員 吉川有理子)

## ブログより

寒い!という日が続いたかと思えば急に春みたいに暖かい日があったり・・・皆様、お変わりございませんか？

私はお昼に少しだけレジに立っているのですが、一昨日こんなことがありました。

お会計を済まされて、またレジに戻って来られたお客様が

「これ、また・・・」

と言われてカウンターに値札の束を置いて帰られました。

今までお買い上げ頂いた品物に付いていた値札を捨てずに紙紐にまとめてお持ち下さったのです。

お受け取りした値札束を見ながら、ほわっと温かい気持ちになり、『・・・「物を大切にすること」とうことは、こういう小さなことの積み重ねなんよね・・・』と改めて思いました。

「お客様、ありがとうございました！」

再利用させていただきます。」

(パート職員 片岡)



# 当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2012年12月1日～2013年1月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

## ご寄付を下された皆様

匿名、坂東、匿名、岡田 (郵便振替口座にご入金下さった皆様) 匿名、匿名、浜田、伊地知、柴田、瀧倉、蓮花寺 田中、秋山、平池、河村、吉成、益田、内原、(有)三好商事自動車部、鈴江、桧垣、桐生、豊井、荻野、巻島、榎本、久米、太田

## 品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○粟飯原、鈴木、岡本、大島、ファミリーマート仲之町店、井川、戎、吉田、荒岡、生島、森上、山下、名倉、日根、宮崎、山内、桑原、野田、杉の子保育園、パソQ、柳沢、河野、仁尾、久保田、川人、尾形、久米歯科、藪原、高橋、椎野、登道、大櫛、長谷、西、宮城、島田、水口、杉本、原田、三海、阿部、簗手、高田、井内、わかくさ幼稚園、森、市川、大下、中尾、田村、竹重、高瀬、川道、宮北、森本、中山、板野、ビューティーオアシス、篠原、磯前、中川、不藤、三好、西田、安芸、城西高校、雲財、元木、山田、チケツ徳島、小倉、上原、加藤、佐藤、鎌倉、川下、中野、鎌田、中田歯科、椎野、木内、久穴、木元、塩谷、井端、石川、尾崎、仲尾、坂東、松崎、敷島、上村、Dコム、山本、江口、米津、藤井、栗本、近藤、富永、井向、大村、黒島、坂本、渡辺、松原、穴吹ハウジング、山崎、稲垣、近久、児島、佐川、宮本、梅枝、東倉、矢野、岡部、秋山、柏原、大原、長尾、板橋、乾、徳島中央郵便局、松野、飯田、大嶺、小原、内野、原崎、西本、一柳、住友、片江、杉村、北野、平松、岸、大野、すぎの子保育園、福家、島、金田、竹丸、幸田医院、東條、川島、中島、谷、伊野、三宅、工藤、丸山、坂野、加登、大泉、山岡、佐々木、瀬戸、三上、桜井、田中、高木、富岡医院、井口、浜田、静川、沖野、増田、野々瀬、近藤、折目、作本、米沢、船越、藤原、吉本、青木、福山、新野、新開、長谷、米田、梅本、赤沢、笹川、西谷、友久、福田、遠藤、藤坂、○藍住町○喜多、林、徳永、福島、三木、吉成、結城、阿波、大倉○鳴門市○久龍、高田、辻、金岡、広田、寺田、水野○石井町○久次米、岡田、露口、三木、中村、かいき林業社、片山、熊田、近藤○板野町○犬伏、葛原、野田、賀満田、花面、大下○阿波市○小川、後藤、吉岡○吉野川市○松本、松本歯科クリニック、重清○阿南市○伊賀○佐那河内村○水原、瀧倉○勝浦町○豊井○北島町○高岡、吉田、塚田、○小松島市○田上、山西、米崎、山内、富田、大林、山下○松茂町○宗田、上西○北島町○結城、新開、市原、和泉、大津

## 品物を持って来て下さった皆様 (郵送含む)

○徳島市○谷、杉本、中平、津田、宮本、榎本、松浦、藤沢、井上、後藤、吉岡、藤原、川崎、尾中、松村、豊米、大栗、小松、西野、小西、多田、夏木、久米川、田中、牧野、犬伏、岡田、辻、高島、森北、橋本、中村、立石、藤田、佐藤、山本、米崎、松永、小渡、住瀬、林、日下、鳥羽、美馬、河原、木下、大西、篠原、平尾、川原、清水、真鍋、中岡、明丸、桑村、清井、上田、石井、筒井、原田、久保、榎本、鎌田、児島、玉置、仁木、中、河合、武市、佐々木、圓藤、中川、藤吉、湯浅、柴山、上原、吉田、田岡、河田、石川、桑原、浜口、伊藤、新居、和田、松野、友成、鈴木、小林、日野、鈴江、木戸、川風、細川、大岩、岡本、板倉、八田、泉谷、宮西、三木、山下、岡、古賀、檉下、島野、堀江、八十川、坂東、福永、秋山、奥野、矢部、梅本、為田、高井、近久、野口、宮内、朝日、住吉、秦、切建、笠井、福島、須原、和泉、加納、吉本、芦田、労福協 なのはな、宮北、角瀬、森、松本、谷井、野村、高橋、イーズアカデミー、福家、内野、井形、木内、吉崎、福田、栗林、大山、楠野、待田、大倉、松尾、池田、三浦、熊谷、木田、鴻野、内海、曾川、大和、山松、石原、樋口、吉見屋、為実、江島、小路、北橋、矢野、宮崎、龍江堂、三原、真木野、徳島県モラロジー協議会、谷本、友川、椎野、以西、西本、村部、浜田、朝川、粟飯原、都留、新日本婦人の会徳島県本部、山口、西川、植木、大櫛、弘田、近藤、渡辺、河野、田村、郡、田淵、東條、速井、小畠、畠

中、友成、桂、中西、瀬戸、尾崎、乾、早藤、平岡、徳元、生田、北川、阿部、寺島、佐々、川尻、竹田、槇、徳島県ボランティア協議会、合田、長尾、川上、楠本、漆原、小川、大島、立花、大北、瀬川、森本、戸田、久次米、芝井、祖父江、梅谷、飛田、坂野、斎藤、古川、大松、橘、傅住、羽池、折目、床櫻、宮金、光山、青木、中山、鍛、西出、村田、角田、久米、玉野、西山、谷川、いこま、桜、島田、長崎、大久保、藤本、馬場、吉内、金、仁尾、櫻井、内輪、井内、富田、木山、西岡、泉、貝川、笹盛、柴田、高濱、藤田、成見、長岡、笹盛、眞澤、円岡、北野、坪内、杉原、福家、高齢者住宅 春水、服部、仲村、高木、炭田、豊崎、吉岡、高原、磯前、新居、山田、伝住、川人、第十、四宮、堤、岸、土居、石田、木村、生駒、米田、辺見、谷口、蔭山、富岡、照本、川田、鳥井、大野、梶村、武岡、堀川、飯島、吉成、木元、細束、片山、平山、元木、香川、前川、楠、岡島、糸井、高橋、森本、谷、前林、十河、杜、岡本、富本、安芸、川島、鹿島、小栗、中野、国府小学校、高松、山花○阿波市○佐々木、森本、中西、鳴川、近藤、吉田、大崎、園田、武田○石井町○加藤、児島、斎藤、堀井、藤本、木谷、山と友の会、武知、浅井、秋山、久米、堀江、小川、田村、野村、松田、中野、坂本、中村、兼子、坂口、田中、中東、佐藤、吉成、近藤、吉田、井上○藍住町○古市、三好、奥藤、佐竹、友成、入山、寺内、船越、藤本、西浦、宮本、平山、藤田、古川、岸、斉川、高田、山田、佐藤、伊藤、西川、岡本、河野、西山、小山、赤石○阿南市○大角、阿南工専、石川、藤田、谷、歳平、中西、佐野、大山、阿部、吉田、井上、細川○上板町○快樂、井上、喜多、笠井、河野、笠井○吉野川市○大久保、寒川、北浦、工藤、藤田、村上、谷、富浦、大倉、中山、知恵島小学校、松本、鴨島駅前まちづくり会議、まちかどコンサート、富浦、中西、阿部、富本、原田、石川○美馬市○吉田、上田○海陽町○神沢、神澤○鳴門市○矢野、新崎、吉成、四ノ宮、橋本、吉田、近藤、デイサービスセンターほほえみ、近藤、大石、志宇知、岡本、大石、吉成○勝浦町○大久保○佐那河内村○山本○北島町○石井、佐川、岸本、安本、岡本、萩原、菅蒲、内田、柳本、安藤○小松島市○小谷、木村、島、東條、山内、芝原、柿田、谷、伊川○上勝町○田中○板野町○高木、沖津、大久保、佐々木、賀満田、鎌田○神山町○高橋○埼玉県○本田○大阪府○佐藤○福岡県○永峰○兵庫県○太田○静岡県○川口製茶株式会社○東京都○塩家○兵庫県○服部、岸村○愛媛県○濱田○香川県○原、合田

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。

またいつも昼食に豚汁などの差し入れをして下さる河野様、片岡様、その他季節のお野菜、お菓子や飲み物などを持って来て下さった皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

また本誌は毎回 300 部を全国に発送しておりますが、前号より、豊崎医院の豊崎光子様より頂いた間伐材封筒（NPO法人レインボー）を使用させて頂いております。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障がい者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

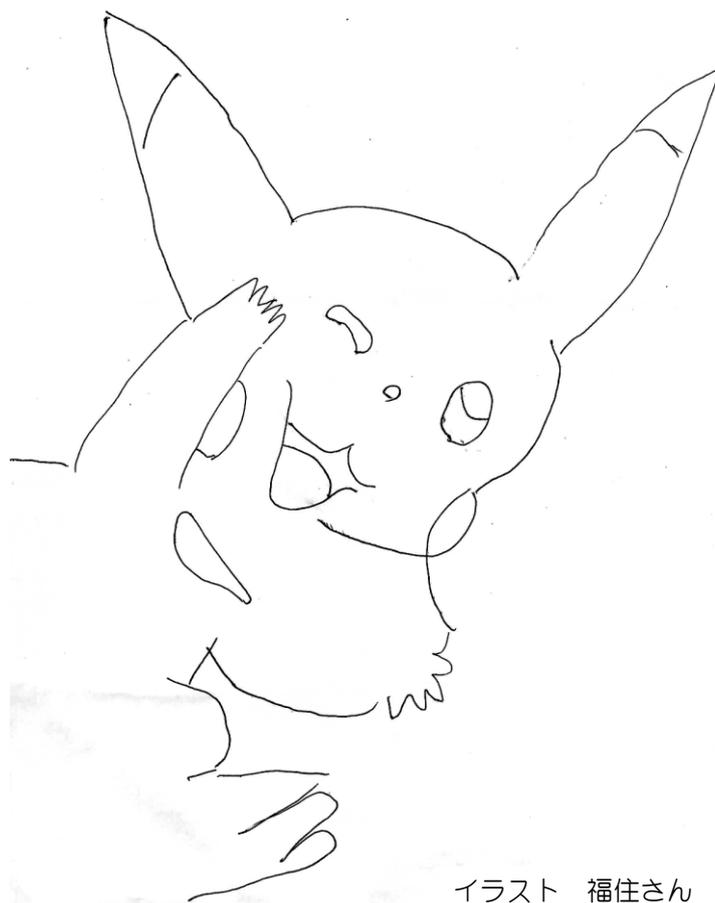


イラスト 福住さん

## 編集後記～ハンディを乗り越えなくても

メンバーのAさんは最後に退院してから20年になる。退院後しばらくしてから作業所に通うようになった。

一般就労に挑戦したけどうまくいかなかったこと、調子の波が激しくて再入院寸前まで行ったこと、主治医の先生が亡くなって調子を崩しかけたが何とか乗り切ったこと、などいろいろあった。

今はお客さんと世間話もしながら、仕事を切り盛りしている。調子が悪くなくても悪いなりに調整して作業できるようになり、大きく崩れることはなくなった。入院していた頃の看護師さんと久しぶりに作業所で再会すると、その変貌ぶりに「あの泣いてばかりいたAさんが」と一様に驚かれる。

今でも服薬はしている。「なぜ自分はこんな病気になったのか」「病気にならなければもっと違う人生があったのでは」と悩むこともある。いつか服薬しなくてもよい日が来れば、という気持ちもある。

しかし、服薬していても毎日仕事をしてお客さんとも顔なじみになり、他のメ

ンバーからも頼りにされている自分をどこかで肯定できる気持ちも芽生えている。人は他者から認められることで自分を支えることができるのだろう。

Aさんはハンディがなくなったわけではないし、ハンディを乗り越えたわけでもない。どこかで折り合いをつけながら、できることは自分でやり、できないことは助け合い、社会に居場所を見つけ、人との関係を深めながら生きている。

その過程の中で「回復していく」こともあるかもしれない。それは、薬や指導訓練の成果というよりは、人との関係性の中で回復してきた、ということなのだと思う(※)。

その関係性を考えて行くことの中に、本来的な福祉の道筋のひとつがあるように思う。たとえそれが数十年の長きに渡る道のりであったとしても(小山)。

(※社会生活を営む上での服薬の必要性や、一定の局面における指導訓練の有効性を否定している訳ではない)

(事例は当会の活動内容をイメージして頂くために、日常の取り組みを紡いだものであり、ある特定の事例を指すものではありません。)

### NPO法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリユース・リサイクル活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・障害者地域共同作業所とリンクさせて、行っています。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

### 発行: 特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延107-1

TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)

088-642-1054 (リサイクル)

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL [t-midori@jeans.ocn.ne.jp](mailto:t-midori@jeans.ocn.ne.jp)

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

協力者名簿入力 岡田郁子

製本・発送 岡田郁子 宇津辰則 走川幸児

年会費: 正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座: 01620-8-44703